

2002-09-17 平成15年1月期 中間(連結・単独)業績予想の修正について

当社の平成15年1月期(平成14年2月1日から平成15年1月31日まで)の中間業績予想について、平成14年3月20日付当社「平成14年1月期決算短信(連結)」及び同日付当社「平成14年1月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成15年1月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期(平成14年2月1日～平成14年7月31日)

(単位:百万円)

	売上	高経常利益	中間純利益
前回予想(A)	6,300	10	5
今回修正(B)	6,571	100	32
増減額(B-A)	271	90	27
増減率	4.3%	900.0%	540.0%

(2) 修正理由

売上高につきましては、経済環境の悪化が進んだものの、不動産関連業務受託事業において複合施設開発型の不動産流動化事業等で期初予想を大幅に超える売上計上があったこと、ならびに当中間期から事業開始した連結子会社での戸建住宅販売が堅調に行われたことにより、65億71百万円(当初予想比2億71百万円の増加)となる見込みであります。

経常利益につきましては、東京拠点整備や要員の拡大等先行投資部分が大きかったものの、不動産流動化等、事業構築能力を活かした利益率の高い不動産関連業務受託事業が大きく伸張したことにより、1億円(当初予想比90百万円の増加)となる見込みであります。

また中間純利益につきましては、上記の理由により32百万円(当初予想比27百万円の増加)となる見込みであります。

(3) 通期(平成14年2月1日～平成15年1月31日)

通期の業績につきましては、不動産関連業務受託事業における不動産流動化事業等の大幅な伸張が見込まれますものの、経済環境の不透明感から、平成14年3月20日付で発表いたしました業績予想に変更はありません。

(4) ご参考:前期の実績(平成13年2月1日～平成14年1月31日)

(単位:百万円)

	売上	高経常利益	当期純利益
中間期 (2/1～7/31)	2,703	△320	△200

通 期 13,752 1,142 604
(2/1~7/31)

2. 平成15年1月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成14年2月1日~平成14年7月31日)

(単位:百万円)

	売 上	高 経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想(A)	6,200	32	18
今回修正(B)	6,255	198	97
増減額(B-A)	55	166	79
増 減 率	0.8%	518.7%	438.8%

(2) 修正理由

売上高につきましては、経済環境の悪化が進んだものの、不動産関連業務受託事業において複合施設開発型の不動産流動化事業等で期初予想を大幅に超える収益があったことにより、62億55百万円(当初予想比55百万円の増加)となる見込みであります。

経常利益につきましては、東京拠点整備や要員の拡大等先行投資部分が大きかったものの、不動産流動化等、事業構築能力を活かした利益率の高い不動産関連業務受託事業が大きく伸張したことにより、1億98百万円(当初予想比1億66百万円の増加)となる見込みであります。

また中間純利益につきましては、上記の理由により97百万円(当初予想比79百万円の増加)となる見込みであります。

(3) 通期(平成14年2月1日~平成15年1月31日)

通期の業績につきましては、不動産関連業務受託事業における不動産流動化事業等の大幅な伸張が見込まれますものの、経済環境の不透明感から、平成14年3月20日付で発表いたしました業績予想に変更はありません。

(4) ご参考: 前期の実績(平成13年2月1日~平成14年1月31日)

(単位:百万円)

	売 上	高 経 常 利 益	当 期 純 利 益
中間期 (2/1~7/31)	2,671	△281	△170
通 期 (2/1~7/31)	13,410	1,115	589

以上

▲ PAGE TOP